

こもれび健康フェアの開催

施設名 ひらかた聖徳園
訪問看護ステーション

① 活動実施の背景・実施に至った理由・思い

ひらかた聖徳園では、在宅で暮されている高齢者等の方々への福祉サービスとして、昭和59年にひらかた聖徳園デイサービスセンターを開設しました。デイサービスを通じて、在宅における高齢者等の健康管理や医療的ケアの必要性を強く感じ、昭和61年より制度に先駆け独自サービスとして、看護師等がご自宅に訪問する訪問看護サービスをスタートし、平成6年より訪問看護事業として取り組んできました。

平成13年より安心して介護に携わっていただけるように「介護者の集い」を開催し、平成16年からは、地域の皆さまにも健康に過ごしていただくことを願い、毎年、健康に関するテーマを設けて「地域交流会」を開催し、平成22年より名称を「こもれび健康フェア」と改名して取り組んでいます。

② 取り組みの内容

平成26年10月18日、ひらかた聖徳園において、「こもれび健康フェア」を開催しました。今回のテーマは「地域で支える認知症～枚方市のサポート体制～」と題して講演等を行いました。

まずはじめに、東香里病院 認知症疾患医療センター 精神保健福祉士の植松聡美先生から



は、同センターの役割などについてお話して頂きました。管轄地域は枚方市だけでなく北河内全体と広く、受診にはかかりつけ医の紹介状が必要で予約は1年待ちだそうです。

認知症対策については、医療法人亀寿会亀岡内科 亀岡慶一先生にご講演を頂きました。認知症は早期発見・対策が必要で、認知症予防のお勧めは「早寝、早起き、朝ごはん、睡眠、有酸素運動、魚の油」でした。ポータルとしてテレビを見る時間を減らし、1日30分のウォーキングが魔法のお薬だと話されていました。

そして最後に、健康の為に欠かすことができないことが“笑い”です。今年も林家染太さんの楽しく心温まる落語で大いに笑わせて頂きました。



③ 活動の効果・課題

今回のこもれび健康フェアでは、地域の方々143名のご来場をいただき大盛況でした。講演会以外にも、骨密度測定や脳年齢測定、介護用品・健康食品の展示、介護相談等も行い、参加者の中には、毎年の恒例行事のように、楽しみながら参加してくださる方もあり、地域イベントの1つとして、健康を考える一日となったと思います。

④ 今後の展開・夢

高齢事業では、2025年に向けて「地域包括ケアシステム」の構築が求められています。香里ヶ丘において、ひらかた聖徳園を中心に行政・サービス事業所・民生委員・ボランティア・地域住民等が連携し、みんなが安心して過ごせる街づくり、そして「ひらかた聖徳園があるから安心！」とっていただけるように取り組んでいきたいと思っています。